

全数報告の感染症

- 1 類感染症: 報告なし
- 2 類感染症: 細菌性赤痢 5 例 (感染地域: 国内 (都道府県不明) 2 例、インドネシア 1 例、カンボジア 1 例、エジプト 1 例)、腸チフス 1 例 (感染地域: 福島県)
- 3 類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症 8 例 (うち有症者 6 例、HUS 2 例) [感染地域: 岡山県 3 例、福井県 2 例、滋賀県 1 例、大阪府 1 例、兵庫県 1 例 年齢群: 10 歳未満 (2 例)、10 代 (3 例)、30 代 (1 例)、50 代 (1 例)、80 代 (1 例) 血清型・毒素型: O157 VT2 (3 例)、O157 VT1・VT2 (2 例)、その他・不明 (3 例)]
- 4 類感染症: E 型肝炎 1 例 (感染地域: 中国、感染源: 不明)、A 型肝炎 1 例 (感染地域: 愛知県)、オウム病 1 例 (感染地域: 兵庫県、感染源: セキセイインコ)、レジオネラ症 4 例 (すべて肺炎型) [年齢群: 50 代 1 例、60 代 1 例、80 代 2 例 感染地域: 北海道 1 例、長野県 1 例、石川県 1 例 (温泉)、徳島県 1 例]
- 5 類感染症: アメーバ赤痢 10 例 (腸管アメーバ症 8 例、腸管外アメーバ 2 例) [感染地域: 国内 8 例、フィリピン 1 例、英国 1 例 感染経路: 経口 5 例、性的接触 3 例 (異性間 2 例、同性間 1 例)、不明 2 例]、急性脳炎 5 例 (A 型インフルエンザウイルス 1 例 (1 歳)、B 型インフルエンザウイルス 1 例 (8 歳)、インフルエンザウイルス (型不明) 1 例 (1 歳)、単純ヘルペスウイルス 1 例 (50 代)、病原体不明 1 例 (4 歳))、クロイツフェルト・ヤコブ病 4 例 (孤発性プリオン病古典型 3 例、遺伝性プリオン病家族性 1 例)、後天性免疫不全症候群 8 例 (無症候 5 例、AIDS 2 例、その他 1 例) [感染地域: 国内 6 例、タイ 1 例、国外 (国不明) 1 例 感染経路: 性的接触 6 例 (異性間 3 例、同性間 1 例、同性間・異性間 2 例)、静脈薬物常用 1 例、不明 1 例]、髄膜炎菌性髄膜炎 1 例 (感染地域: エジプト/スペイン/フランス、血清群: B 群)、梅毒 8 例 (早期顕症 I 期 1 例、早期顕症 II 期 1 例、晩期顕症 1 例、無症候 5 例)、破傷風 1 例 (40 代)、バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1 例 (遺伝子型: 不明、菌検出検体: 膿)

定点把握の対象となる 5 類感染症 (週報対象のもの)

インフルエンザ: 定点当たり報告数は第 2 週以降増加が続いており、過去 5 年間の同時期 (前週、当該週、後週) と比較してやや多い。都道府県別では福岡県 (60.0)、大分県 (54.1)、沖縄県 (53.2)、新潟県 (51.8)、長崎県 (48.5)、山口県 (47.7)、宮崎県 (47.2)、佐賀県 (47.2) が多い。

小児科定点報告疾患: RS ウイルス感染症は 565 例の報告があり、第 5 週以降報告数は減少が続いている。年齢別では、1 歳以下の報告数が全体の約 71% を占めている。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では富山県 (1.03)、青森県 (0.90)、島根県 (0.83) が多い。A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は減少したが、過去 5 年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別では富山県 (7.9)、鳥取県 (6.2)、北海道 (5.7) が多い。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は第 8 週以降増加が続いている。都道府県別では宮崎県 (18.1)、愛媛県 (15.3)、徳島県 (12.7)、福岡県 (12.7) が多い。水痘の定点当たり報告数は増加し、過去 5 年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別では宮崎県 (5.8)、佐賀県 (4.1)、鹿児島県 (4.0)、沖縄県 (3.9) が多い。手足口病の定点当たり報告数は増加し、過去 5 年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では宮崎県 (2.6)、鹿児島県 (1.9)、長崎県 (1.6) が多い。伝染性紅斑の定点当たり報告数は増加し、過去 5 年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では富山県 (3.2)、石川県 (2.0)、北海道 (1.6)、長野県 (1.2) が多い。百日咳の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では栃木県 (0.06)、沖縄県 (0.06)、岡山県 (0.04) が多い。風しんの定点当たり報告数は横ばいであった。都道府県別では千葉県 6 例、東京都 2 例、北海道、宮城県、埼玉県、新潟県、京都府、大阪府、兵庫県から各 1 例の報告であった。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は減少した。都道府県別では山口県 (0.84)、岡山県 (0.31)、福岡県 (0.21) が多い。麻しんの定点当たり報告数は横ばいであった。都道府県別では千葉県、東京都、大阪府から各 2 例、埼玉県、神奈川県、愛知県、島根県から各 1 例の報告があった。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では秋田県 (1.7)、新潟県 (1.6)、高知県 (1.6) が多い。

基幹定点報告疾患: マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は減少したが、過去 5 年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では沖縄県 (4.0)、岡山県 (2.4)、福島県 (1.1)、栃木県 (1.1) が多い。成人麻しんは東京都から 5 例、神奈川県から 2 例、茨城県、千葉県から各 1 例の報告があった。

	インフルエンザ (定点当たり)	小児科定点											眼科定点		基幹定点							
		RS ウイルス感染症	咽頭結膜熱	菌咽頭炎	A 群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	成人麻しん
愛媛県	21.1	.4	.1	4.6	15.3	3.1	.1	1.2	1.2					.5		2.1		.2	.8			
近畿	香川県	27.2	.3	.2	.8	7.0	1.9	.1	.0	.4			.2	.6		.3						
	徳島県	23.4	.3	.3	1.4	12.7	2.0	.1	.3	.6				.3		.3						
	高知県	12.2	.2	.2	1.6	7.8	2.9		.4	.4				1.6		1.0			.3	.3		
全国	32.9	.2	.3	2.5	7.8	2.2	.3	.6	.6	.0	.0	.1	.0	.6	.0	.7	.0	.0	.4	.0	.0	.0
北海道	32.8	.5	.2	5.7	2.7	1.9	.0	1.6	.5	.0	.0			.4		.6			.1	.0		
東北	31.1	.2	.4	2.4	6.3	1.8	.2	.8	.6	.0	.0	.0		1.1	.1	.5	.0	.0	.6	.0		
関東	29.8	.1	.2	2.8	7.2	2.0	.2	.6	.6	.0	.0	.0	.0	.3	.1	.9		.0	.4	.0		.1
甲信越北陸	40.5	.1	.5	3.8	6.5	2.1	.2	1.4	.5	.0	.0			.7		.8		.0	.3	.0		
東海	24.6	.2	.3	1.8	8.1	2.0	.1	.7	.6	.0	.0	.0	.0	.5	.0	.4	.1	.0	.6			
近畿	29.4	.2	.2	1.6	7.5	2.2	.1	.5	.4	.0	.0	.0	.0	.5	.0	.4		.0	.3	.1		
中国四国	31.5	.3	.3	2.3	9.7	2.1	.2	.3	.6	.0	.0	.2	.0	.6		.9		.0	.4	.0		
九州沖縄	48.2	.2	.3	2.0	10.8	3.4	1.2	.3	.8	.0		.1		.7	.0	.6		.0	.5			

1) 高病原性鳥インフルエンザを除く。 2) 成人麻しんを除く。 3) 真菌性を含む。 4) オウム病は除く。 (3月22日集計) 愛媛県基幹感染症情報センター

全国 全数把握感染症 第11週 (2007.3.12 ~ 3.18)

類 型	二類感染症				三類	四類感染症															五類感染症																								
	疾病名	(2)コレラ	(3)細菌性赤痢	(5)腸チフス		(6)パラチフス	(1)腸管出血性大腸菌感染症	(1)E型肝炎	(2)ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)	(3)A型肝炎	(4)エキノコックス症	(6)オウム病	(8)Q熱	(9)狂犬病	(11)コクシジオイデス症	(15)つつが虫病	(16)デング熱	(18)日本紅斑熱	(19)日本脳炎	(22)ブルセラ症	(23)発しんチフス	(24)ポツリヌス症	(25)マラリア	(26)野兔病	(27)ライム病	(29)レジオネラ症	(30)レプトスピラ症	(1)アメーバ赤痢	(2)ウイルス性肝炎 (E型及びA型肝炎を除く)	(3)急性脳炎	(4)クリプトスポリジウム症	(5)クロイツフェルト・ヤコブ病	(6)劇症型溶血性レンサ球菌感染症	(7)後天性免疫不全症候群	(8)ジアルジア症	(9)髄膜炎菌性髄膜炎	(10)先天性風しん症候群	(11)梅毒	(12)破傷風	(13)黄色ブドウ球菌感染症	(14)バンコマイシン耐性腸球菌感染症				
第11週報告数	全 国		6	1		8	1		1		1															4	10		5		4		8		1		9	1		1					
	四 国	愛 媛 県																																											
		香 川 県																																											
		徳 島 県																									1																		
		高 知 県																										1																	
	ブ ロ ッ ク 別	北 海 道																									1	1																	1
		東 北 関 東			1																							6		3				2				5							
		甲 信 越 北 陸						2																			1							1											
		東 海 近 畿		2				1		1																	1	1						2					1						
		中 国 四 国						3																			1	2																	
九 州 沖 縄							3																										2						2	1					
週 推 移	全 国		11週	6	1	8	1		1		1															4	10		5		4		8		1		9	1		1					
			10週	1	5	1	7										2				1					2	12		2		3	1	12				5			1					
			9週		10	2	17				1										1					9	9		1		2		16				8	1		1					
			8週		3		7										3				1					4	6		1		2	1	12				6	1		2					
2007年累積数	全 国	3	103	7	4	144	12		36	4	6	3		1	37	9	1			1	5					77	1	151	29	45	1	34	25	249	8	2		99	11		18				
	四 国	愛 媛 県					4			1																		1		1		2													
		香 川 県					2						3																					1					3						
		徳 島 県																																	1										
		高 知 県																										1	1			3		1											
	ブ ロ ッ ク 別	北 海 道		1			3	4			3											1					5	4	1				4	2					1			1			
		東 北 関 東	1	4	2		7			3	1					2						1					4	8		3		1	2	6				4			2				
		甲 信 越 北 陸		4	1		9			2						1											12	6	3	3	1	4		7					3			1			
		東 海 近 畿		16			10	4		3	1				4	1											15	17		3		3	2	37		1		18	2		2				
		中 国 四 国		2			32			6	1	3				4	2		1								9	5	6	3	10	1	9	1				12							
九 州 沖 縄			2			29			4						11	2										8	10	2	7		3	2	17				17	7		3					

医療機関での診断日をもとに集計。集計日以降の報告数は、次週以降の累積に反映されます。

(2007.3.22集計)